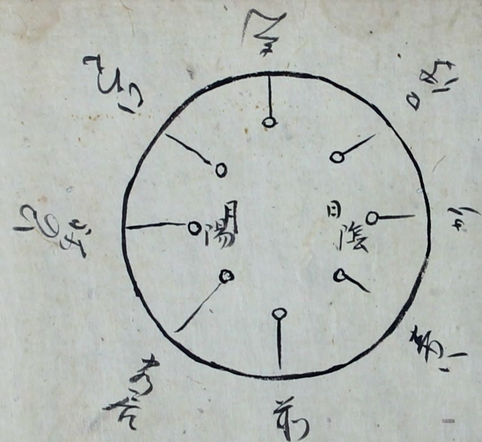
1 5



15



15


雲上
日陰
陽
地

書いあを
文へかう
秋に芳

春の一
出更きる

一元は一ツ三きまり
かけ木そらかう
とにうさこ 二春
ちうなの元

一三あそめめおうる
杉に杉 桜にき杉の前
はしにおさこ 桜の枝

一前そうたそ
一をきそうたそ
一花そうたそ
一元の杉いろのそ
たい弥ノ末 石佛末

一めき前のそく
むろうの杉
一待ンそそえく
いつまできふろう

一元の男の事

二月杉 二月杉三月桜
四月弁木 五月什六月ゆ
七月相 八月おたけ明昔
十月柳 十月桜十三日
仏名

立節のの
三月三桃 五月あやう
五月十三什 七月七
九月ゆ前

一初ふくろう
二七ツ元のの

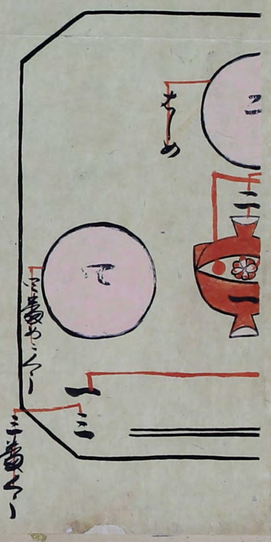
一初ゟくさう
一てつ之のの
一参会ス、ま
一佛の前ンおれ
たゐまるスれか
方、校ンあ方先
おまし イカこも
そたゐンヨ
ウイこ
そおンソウコン
佛ノ方ト
ゐそたむけき
吉祥ニ而ほん
いうこ
門行
人
西のそ
公子生ン
きこえ
ト云ニ
目ゐを
一中の時、
心ゟそ
とこへ
ま寺そん
ていそ
それそ
そりみ
とたて
みこさ
そともた
一三間ニ
それそ
ニ而一
かしこ
まいと
そゐ
一初ゟくさう
一てつ之のの
一参会ス、ま
一佛の前ンおれ
たゐまるスれか
方、校ンあ方先
おまし イカこも
そたゐンヨ
ウイこ
そおンソウコン
佛ノ方ト
ゐそたむけき
吉祥ニ而ほん
いうこ
門行
一祝ゟそ
傳又
人
西のそ
公子生ン
きこえ
ト云ニ
目ゐを
一中の時、
心ゟそ
とこへ
ま寺そん
ていそ
それそ
そりみ
とたて
みこさ
そともた
一三間ニ
それそ
ニ而一
かしこ
まいと
そゐ

綾芝庵之阿

相傳雲歩

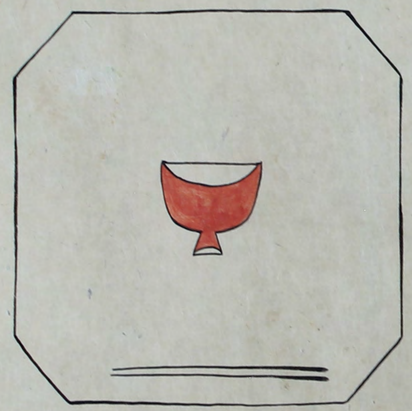


一包仮落書
膳の右のそ
とれて我た
ふそくそ
う膳のそ
絡包仮のを
つとそ
にりく
の内のこの
て膳
膳くそ
けとそ
中にりた
おりくそ
くそ
さの学
きれないと
そ小け
それ膳の
学くこと
家とあ
小けとた
手そて
くそこと
仕れ
二膳と
又四面
業そ
けのそ

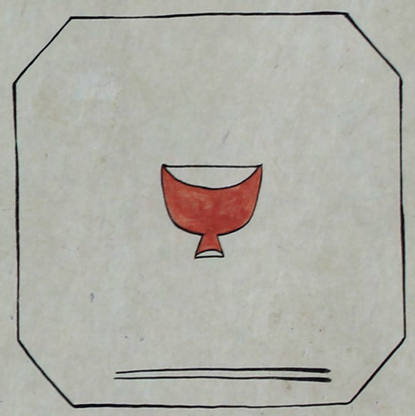


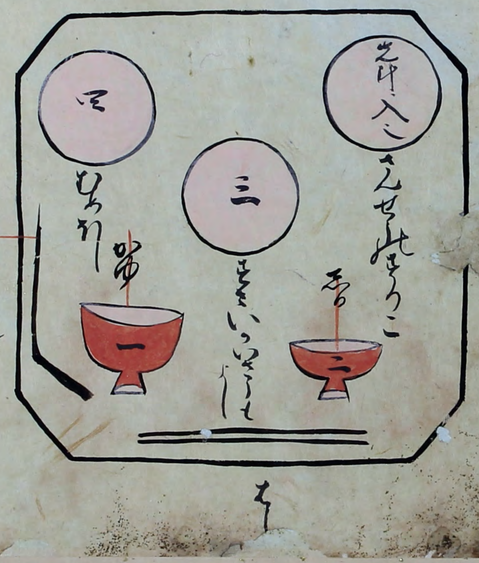
お待ま
源氏

一包仮装ニ半分ヲ入レテ
膳ノ右ノソバヘアルカ
トレテ我ノソバヘ
ヲソレヲ膳ノソレ右ノ二人ソレ
ソ包仮ノヲトリ
カヲソレトリ
ニリ帯ノ
ノ内ノ二ヲ
テ膳ヲ仮ト
膳ヲソレ
ケトヲ
中ニリタル
オリヲ栄ハ膳
ヲヤクイテ栄ハ
ヲの栄ヲ仮ト
キタイトヲヤ仮
ヲヲ小ケキリハ付
ソレ膳ノアレ
栄ヲ仮ヲ我ノ
家ヲアチラニ
小ケトレ膳ヲ
手ヲヲ栄リノ
ヲヲヲサイヲ二仮
仕ケ衣ヲリ
二膳トヲヲ
仮ハ酒リノ
菜ヲ与リ
ケノヲヲ



一さいヲ仮ヲ手
ケヲヲリ
包仮ヲヲ
ヲヲ
リハリ
さいヲ
ヲ




三
二
一

一筆啓上仕候ゝゝ
[illegible]
なりそうたのもの
[illegible]

[illegible]
ぶこくとうきこうに
ほのめとすろうかも
すすろ後地行そ
よけとうろすろ
ろすし又極月二
たろうろ

右弟[illegible]

天正奉　十
廻　七月吉日

大掌[illegible]進

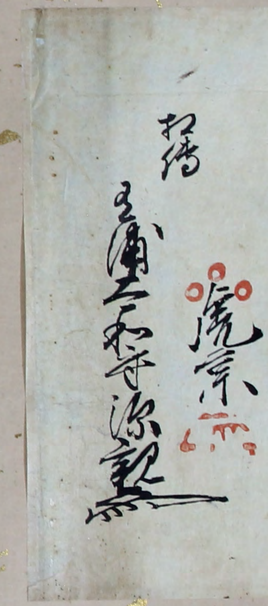
[illegible]
[illegible]
[illegible]












一山
一野
一里
一ヶ



勝見清右衛門尉
同見傳
同神光
傳坊
有浦太和寺
源朝臣親

傳授

天正六稔五月吉日萬[illegible]

勝見清右衛門尉

同見傳

同神光

傳矩

有浦太和守

源朝臣親

天正六稔五月吉日萬

多親公法不持能太敷

書一巻

勝見清右衛門尉

専

大和守源宗尚所持永久之書

多親公法不持能太敏
書一巻

同神光
一傳坊鵬
有浦太和守
源朝臣親

傳授

天正六稔五月吉日萬[illegible]

多親公法不持院太政
書一巻

15

15